事業者別サウンディング結果表

■事業全般に対していただいた主なご意見

資料館や文化財との共存が望ましい。例えば、ある時は個展の併設、ある時は夏祭りなどの企画行事を通して、活用できると考える。地域の活性化に繋がるような運営について可能性を検討したい。
貸出の形式として、当社が市に日額で賃借料を支払う場合や、長期で借りている事業者がいる場合は、その事業者に使用時間に応じた使用料を支払うことができると考えている。古民家でのイベントや撮影等も人気がある。ペットも参加できるようにするなど個別に企画を手がけ、顧客のニーズに応えたい。湘南の古民家の魅力に共感するお客様に対して、想い出に残る場所として活用したい。
市から土地家屋を借用し、貸付で賃借料を収益で得る方向を社内で検討したが、難しいとの結果に至った。
立地の不便さゆえに訪問することを断念することなく、まずは、方法は、子どもも大人も興味を持ちそうな、謎解き形式で、藤間家を知りながら、現地に赴き、興味を持ってもらうことから始めるイベント等を開催できると考える。企画提案書では魅力を最大限に引き出すための「圧倒的な興味」を創ることが将来的に文化財の自立運営を生み出すための資産となる。
単発で年に数回、1日単位で借りることを想定している。地域貢献として単発で賃借料を支払い利用するということであれば、活用の可能性を検討する余地はあると考える。
敷地の北側に広いスペースがあるため、イベント等に活用するためのポテンシャルは高いと考える。

■事業内容に係るご提案等

・飲食、低価格帯のカフェ
・市内在住のアーティストの個展等の開催
・夏祭り
・縁日のようなイベントを開き、子どもたちに藤間家を知ってもらう機会を提供する
・ワークショップの開催
・縁側をワークスペースとして開放する
・寺子屋のような書道教室など
・撮影会
・庭園でペットも一緒に参加できるイベントや撮影
・藤間家にまつわる物語をテーマにした謎解き

■その他、懸念事項等

・除草や植栽、高木の伐採等管理に手間と費用がかかることを懸念している。
・海が近いので海岸を活用した一体的な取り組みも可能だと思うが、使用のたびに県の許可等が必要になる。
・花壇や樹木の位置がイメージしているイベントの動線と被ってしまう。
・藤間家の歴史的な価値を伝えつつ、どのように収益化を図るか。